

ナガエツルノゲイトウを見つけたら 早期駆除を徹底しましょう

**生息域が拡大すればするほど駆除が難しくなるため、
発生初期の徹底防除が大変重要です。**

ナガエツルノゲイトウは、南米原産の多年草で、主に水辺に生息し、茎や根などの小さい断片でも再生し、すぐに繁茂してしまいます。そして、水田に侵入されると、稲の生育阻害を引き起こす等、農業への悪影響のおそれがあります。

県南地域では新利根川流域や霞ヶ浦において生息域が拡大しています。



河川での繁茂



畦畔での大量繁茂



水田給水栓付近での繁茂

ナガエツルノゲイトウの見分け方

- 【葉】 節から1対の葉が付く、葉の先がややとがる
- 【茎】 茎は空洞（ストロー状）、節に短い毛が生える、茎の表面はなめらか
- 【花】 花柄は葉のわきから伸びる、花柄の長さは約1～4 cm、
花は小さな花が集まった球状、開花期：4月～10月

【葉】



【花】



【茎】



間違えやすい植物



ツルノゲイトウ
・球状花は葉の脇にくっつく



アメリカタカサブロウ
・葉の鋸歯は明瞭
・花は球状ではなく平たい



タカサブロウ



スベリヒユ
・葉の先は丸い
・葉は互生
・花は黄色

<農地の所有者や耕作者の方へ>

ナガエツルノゲイトウ、または、疑わしい植物を農地で発見した場合は、裏面の問い合わせ先に御相談ください。

・ナガエツルノゲイトウは特定外来生物に指定されているため、生きたままの保管・運搬等は法律により禁止されています。

ナガエツルノゲイトウ防除の基本

水田に入れない

- ・ 給水栓の口に種もみネット等を被せ、用水路等を通じて断片が水田に入るのを防ぎます。
- ・ トラクター等の農機に付着した茎断片を拡散させないように、発生のない水田から先に耕うんし、農機はよく洗います。



水田や畦畔でふやさない

<発見したらすぐに駆除！！>

【抜き取り・剥ぎ取りによる駆除】

- ・ 断片が残らないように駆除し、ブルーシートの上に置くなどして枯らしてから自治体のごみ処理方法に従って処理。
- ・ **発生場所では刈払機等は使わない！** 小さな茎や根の断片から再生し、繁茂の原因となります。

【除草剤による駆除】

- ・ **本田・畦畔での駆除は、下記の成分を含む除草剤が有効！**



本田・畦畔防除に有効な除草剤

作物名	使用場所 ・使用時期	成分名等
移植水稻	本田初期	ピラクロニルを有効成分に含む除草剤
移植水稻	本田中後期	フロルピラウキシフェンベンジルを有効成分に含む除草剤
水田作物	本田耕起前 (雑草生育期)	非選択性茎葉処理剤(グリホサートカリウム塩液剤等)
水田作物	畦畔(通年)	非選択性茎葉処理剤(グリホサートカリウム塩液剤等)

※ 資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する方は、必ず、使用前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。また、河川敷や水路など水系に流れ出るおそれのある場所では使用しないでください。

※ れんこん等の生育を阻害するおそれがあるので、れんこん等の隣接田で使用する場合は、十分注意してください。

○ナガエツルノゲイトウの判別や防除方法に関するお問い合わせ先

(土浦市、石岡市、かすみがうら市の農地)

・ 県南農林事務所 経営・普及部門 電話 029-822-7242

(龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、美浦村、阿見町、河内町の農地)

・ 稲敷地域農業改良普及センター 電話 029-892-2934

(取手市、つくば市、守谷市、つくばみらい市、利根町の農地)

・ つくば地域農業改良普及センター 電話 029-836-1109

茨城県 県南農林事務所 企画調整課 電話029-822-7083 (令和6年10月作成)

出典：ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアル(農林水産省、環境省、農業・食品産業技術総合研究機構)